

ケア・アクションつる ボランティアグループの紹介

リフォームボランティア 皆で知恵を出し合い楽しく活動!

私たちのグループは、「端切れや家庭に眠っている布などを利用してリフォーム作品を作り出し、地域の様々な場面で役立てていこう」と、都留市社会福祉協議会の呼びかけをきっかけに平成九年三月から活動を始めました。現在のメンバーは、三十代から七十代と幅広く、住んでいる地域も様々な二十一名です。

主な活動内容は、在宅介護を支援するための介護用品づくり、社会福祉施設の活動を支援するための様々な作品づくり、学習会、そして年一回は各種福祉バザーに出店して収益金を活動資金や寄付活動に活用しています。

これまでに、会員の一人が長年に渡る介護の実体験から考え出した「介護手袋や介護エプロン」、お手玉遊びや置き物としても可愛い「猫のお手玉」、災害の厄除けとして社会福祉施設や家庭に備えておきたい「防災ずきん」、八朔祭りで使用したさらしを紅茶で染めて作った「うさぎの輪ゴムホルダー」など数々のオリジナル作品を考案して作成しました。

私たちが、リフォームボランティア活動を実践する上で一番大切にしていることは「常に地域に目をむけてニーズに即した活動をしていく」ということです。今、地域ではどんな問題があるのか、どんなことが必要なのか、自分たちらしさを活かして何ができるか皆で話し合い活動に結び付けています。

活動は、基本的に毎月一回(第四日曜日)ですが、毎回不思議なくらい次から次へとリフォーム作品のアイデアが飛び出してきて、自分たちの家庭生活にも大いに役立っています。「世代間交流を深めながら、皆で知恵を出し合い、気負わずにボランティア活動を楽しむ」をモットーに、今後も新しい仲間を増やしながらか活動を継続していきます。

地域の中には、「日々の暮らしを見直し、できる限り資源を有効に活用して豊かな暮らしに役立てる」というようなリフォーム作品作りに関心がある方は大勢いると思います。ぜひ、私たちと一緒にリフォームボランティア活動をしてみませんか。

活動日 基本的に第四日曜日

場 所 午後一時三〇分～四時
いきいきプラザ都留一階
ボランティア活動室

問合せ

代表 前田武子 (43) 3525
都留市社会福祉協議会 (46) 5115 担当 森嶋



リフォーム作品作成の様子



ふれあいショップの様子



マスコット人形(都留市、共同作業所むつみの家)

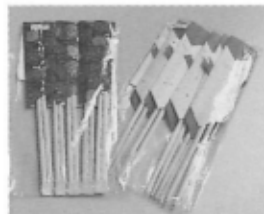


ケア・アクションつる ふれあいショップ開設

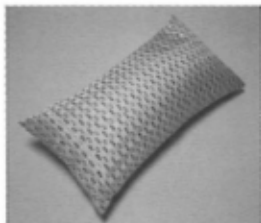
心身にハンディキャップがある方や高齢者の団体などが制作した物品を販売し、これらの方々の自立の促進及び生きがいづくりを目的にいきいきプラザ都留内に「ふれあいショップ」を開設しました。

このショップの管理運営は、将来的には、ボランティア団体をお願いしていく予定ですが、物品を販売する場合は左記までお問い合わせください。

問合せ
市福祉事務所 (46) 5112
市社会福祉協議会 (46) 5115



割り箸(都留市共同作業所むつみの家)



足枕(都留市内高齢者団体)



枕(都留市内高齢者団体)



手織絹テーブルクロス(宝山寮)
芳香剤(都留市共同作業所むつみの家)